

憲 法

(問 題)

2020 年度

注 意 事 項

1. 問題冊子、解答用紙および貸与六法は、試験開始の指示があるまで開かないでください。
2. 問題は2頁に記載されています。問題冊子の印刷不鮮明、頁の落丁・乱丁および汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせてください。
3. 下書用紙は一人につき一枚のみ配付します。
4. ラインマーカー、色鉛筆、修正液等は、問題冊子・下書用紙に使用することを許可しますが、解答用紙に使用した場合は、不正行為とみなすことがあります。
5. 貸与六法への書き込みは、不正行為とみなすことがあります。
6. 試験開始の指示の後、解答用紙表紙の所定欄に、受験番号、氏名を記入してください。受験番号は正確に間違いなく記入してください。読みにくい数字は採点処理に支障をきたすことがあるので、注意してください。
7. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答を止め、筆記用具を置いてください。終了の指示に従わず筆記用具を持っていたり解答を続けた場合は、不正行為とみなすことがあります。
8. 試験終了後、問題冊子、下書用紙は持ち帰ってください。
9. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出してください。
10. 解答用紙に記載の注意事項もあわせて確認してください。

問題（60点）

Xは、10年ほど前、会社を経営する友人が資金繰りに窮し銀行から借入れをした際に、乞われて連帯保証人になったが、その会社が多額の負債を抱え倒産したことで、自らも自己破産せざるを得なくなった。その後まもなくしてXは結婚し、現在は妻と小学生の娘と一緒に平穏な生活を送っている。けれども、自己破産したことについては、勤務先にも家族にも秘匿し続けてきた。

Yは「これが破産者だー全国破産者地図ー」という名称のウェブサイトの運営管理人である。このサイトには誰でもアクセスすることが可能で、地図上の目印をクリックすると、債務者氏名と住所、官報公示日、管轄の裁判所、事件番号等が表示される仕組みになっている。そうした情報については、直近30日分はインターネット版官報から無料で入手し、それを超える分については官報情報検索サービス（有料）から取得している。そして、このサイトでは過去約10年分に関する情報が逐次更新されている。Yは数年前からボランティアでこうした活動を行っており、一般に公表されている情報を利用して、個人の信用にかかわる破産という情報を広く世間に知らせることは、公益にかなうものだと考えていた。

最近Xは、娘の小学校でPTAの集まりに参加した折に、偶然、別の親からこのサイトの存在を聞き、早速調べてみたところ、自分の情報が掲載されていることが分かった。このままでは秘密が明らかになるのは時間の問題であり、しかも一度ウェブ上に掲載されたものは半永久的に記録が残ってしまう。そこでXは、Yに対して、自身にかかわる情報の削除と損害賠償を請求することに決めた。

Xから依頼を受けた弁護士として、いかなる憲法上の主張をなしうると考えるか。Y側からの想定される反論もふまえながら、論じなさい。なお本件においてYは既に特定されているものとする。

〔以下余白〕